

しか おい

議会だより

三二版

No.74

2022.5.25

発行 / 鹿追町議会 編集 / 広報広聴常任委員会・広報部
〒081-0292 北海道河東郡鹿追町東町1丁目15番地1
TEL / 0156-66-4039 FAX / 0156-66-4041

臨時議会を開催

5月9日

臨時議会を開催し、水素燃料電池自動車10台の財産取得契約1件を原案どおり可決した。



充電中の水素燃料電池車

また、令和3年度事業のうち、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金2281万円を含む9309万円を令和4年度に繰り越した。

まちなか会議 町内各団体と各常任委の懇談会を実施

3月2日、4月1・13日、5月13日

産業厚生常任委員会（委員長 加納茂）は、農業委員会、商工会、建設業協会、観光協会及びJA鹿追町役員とそれぞれ懇談した。

また、総務文教常任委員会（委員長 畑久雄）は、教育委員と懇談した。

懇談では、各団体の現状と町への要望事項等を聞き取り、意見交換を各2時間にわたり実施した。

農業関係では、農業委員のなり手不足や新規就農について、長期的な計画の検討が必要であると見解を示した。

商工業関係では、空き店舗の第三者承継支援、道の駅整備、町道修繕計画策定等の意見が出された。

観光関係では、しかりべつ湖コタシン事業で協賛金徴収による継続性確保や、店舗のキャッシュレス化推進に伴う手数料負担の発生と高齢化等による取り扱いの問題が出された。

教育関係では、学力向上や小中学校の配置適正化、タブレット端末の活用、鹿追高校支援等が出された。

各団体から出された意見は、各常任委員会及び全員協議会で検討し、一部を町長へ書面で申し入れた。



農業委員と産業厚生常任委員の懇談会（R4.3.2）

議会報告会・広聴会を開催

4月20日

まちなか会議 議会報告会・広聴会が鹿追（平成館）、瓜幕（ウリマックホール）の2会場で開催された。合わせて6人が参加した。

議員からは3月定例議会において審議、決定した予算や条例改正等の内容について報告した。

このあと議員と参加者で、ふるさと納税の返礼品にお墓の清掃を追加、独居老人のごみの取り扱いへの対応、行財政改革による5億円の削減状況、地域おこし協力隊の交流・連携等について意見が出された。



鹿追会場の平成館では2人が参加

6月定例議会 開催予定

- 20日(月) 本会議 午前10時～
21日(火) 本会議(残り) 午前10時～
23日(木) 一般質問 午前10時～
24日(金) 一般質問(残り) 午前10時～
// 本会議(最終日) 一般質問終了後

議会中継やっています。

YouTubeで議会中継を閲覧
できます。

右記のQRコードを読み取るか、左記の時刻に鹿追町議会 議会中継ページからご覧ください。

(6月23日がおすすです。
過去の中継もご覧いただけます)

<https://www.town.shikaoi.lg.jp/gikai/chukei/>



主な議会活動

〈3月〉

- 1日 総務文教常任委員会
2日 産業厚生常任委員会
まちなか会議 農業委員と
産業厚生常任委員との懇談会
4日 全員協議会
議会運営委員会
8日 定例議会 初日
予算審査特別委員会
総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
16日 定例議会 一般質問
全員協議会
議会運営委員会
17日 全員協議会 活性化調査会
18日 予算審査特別委員会
23日 定例議会 最終日
産業厚生常任委員会

〈4月〉

- 1日 まちなか会議 商工会・建設業協会役員
と産業厚生常任委員との懇談会
5日 広報広聴常任委員会 広報部会
11日 産業厚生常任委員会

- 13日 まちなか会議 観光協会役員・JA鹿追
町理事と産業厚生常任委員との懇談会
14日 広報広聴常任委員会 広報部会
19日 総務文教常任委員会
20日 産業厚生常任委員会
まちなか会議 議会報告会・広聴会
28日 全員協議会
産業厚生常任委員会
委員長会議

〈5月〉

- 9日 第2回臨時議会
13日 まちなか会議 教育委員と
総務文教常任委員との懇談会
16日 産業厚生常任委員会
17日 広報広聴常任委員会 広報部会
24日 まちなか会議 議員とカフェでひとこと

(今後の動き)

〈6月〉

- 7日 総務文教常任委員会
8日 産業厚生常任委員会
13日 全員協議会
議会運営委員会

広報広聴常任委員会

広報部会

- 部会長 台蔵 征一
副部会長 清水 浩徳
部会員 安藤 幹夫
部会員 川染 洋
部会員 山口 優子

現在の世界情勢では「ウクライナ
へロシアが侵略」「コロナ戦争」、特
にコロナ禍で経済が疲弊し、多くの
業種が危機的状況にあります。
一方、当議会では今期の統一地方
選挙において無投票当選となり、住
民の意思が働きませんでした。これ
は当議会初の経験であり、次回選挙
で同じ状況を避けるために議員間討
議の最中であります。
ぜひ、議会への理解と勇断により、
各団体からも新風を期待します。

議員定数となり手不足



埴淵 賢治

議員コラム

控え室